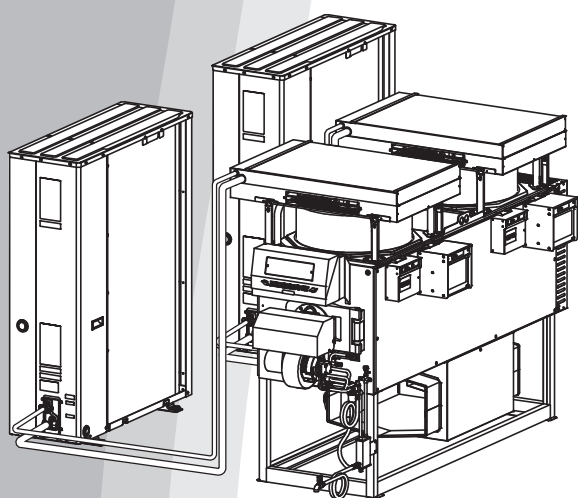


誰でもヒーポン

施設園芸用ヒートポンプ（暖房専用）

型式

EHP62



お客様へ

このたびはネポン製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

◎ご使用の前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

◎この取扱説明書は、工事説明書、保証書とともにいつでも見ることができる場所に必ず保管してください。

【保証書別添付】



本機にはGWP（地球温暖化係数）が2090のフロン類が使用されています。
地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄する場合にはフロン類の回収が必要です。

◎この製品は施設園芸用です。
他の用途には使用しないでください。

はじめに

1	安全上のご注意	4
2	誰でもヒーポンについて	7
3	各部の名前とはたらき	13

使いかた

4	使用前の準備と確認	16
5	使いかた	17
6	日常の点検・お手入れ	19

こんなときは

7	長期間使用しないとき	22
8	故障・異常の見分けかたと処置方法	23
9	こんなときは	27
10	安全装置	28
11	仕様	29
12	フロン排出抑制法について	31

取扱説明書の読みかた

■本書は誰でもヒーポンの取扱説明書です。はじめから順番にお読みになり、正しくお使いください。

本書を読むときは、工事説明書も手元にご用意してお読みください。本書の説明の一部で工事説明書を参照しています。

■本書の対象読者

誰でもヒーポンを初めてご使用になる一般の方を対象に記載しています。

■本書の構成

- ・はじめに
「安全上の注意」について記載しています。誰でもヒーポンのご使用前に必ずお読みください。
また、誰でもヒーポンで利用できる機能の概要、使用するための準備、表示部・操作部の基本的な使いかたなどについても説明しています。
- ・使いかた
誰でもヒーポンを使う前の確認、使いかた、日常の点検とお手入れ、長期間使用しないときの処置などについて説明しています。
- ・こんなときは
困ったときの対処方法などについて説明しています。

本書の表記

■マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

- ・  **危険**、 **警告**、 **注意**
安全上の注意についての説明です。必ずお読みください。各マークの詳細な説明は「安全上のご注意」に記載しています。
- ・  **お願い**
機能をご使用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。お客様が操作する必要のある項目やお問い合わせの必要がある項目などを記載していますので、必ずお読みください。
- ・  **お知らせ**
機能についての補足項目を記載しています。
- ・  **おすすめ**
機能を設定するうえでのおすすめ情報を記載しています。
- ・ []
機能名やボタンなどの名称を示します。

もくじ

1	安全上のご注意	4	11	仕様	29
2	誰でもヒーボンについて	7	11-1	仕様表	29
2-1	製品のしくみ	7	12	フロン排出抑制法について	31
2-2	製品型式と意味	8		定期点検	34
2-3	運転方法の選択	9		保障とアフターサービス	35
3	各部の名前とはたらき	13			
3-1	本体	13			
3-2	操作盤	15			
3-3	送風機増速盤（50Hz 地区のみ） ..	15			
4	使用前の準備と確認	16			
5	使いかた	17			
5-1	電源を入れる	17			
5-2	運転する	17			
5-3	停止する	18			
6	日常の点検・お手入れ	19			
6-1	毎日の点検・お手入れ	19			
6-2	月に 1 回の点検・お手入れ	19			
6-3	3 か月に 1 回の点検・お手入れ	21			
6-4	年に 1 回の点検・お手入れ	21			
7	長期間使用しないとき	22			
7-1	使用を中断するときは	22			
7-2	使用を再開するときは	22			
8	故障・異常の見分けかたと処置方法 ..	23			
8-1	症状・表示から調べる	23			
8-2	こんなときは故障ではありません ..	26			
9	こんなときは	27			
9-1	停電が起きたときは	27			
9-2	雷が発生したときは	27			
9-3	災害が起きたときは	27			
9-4	移設／譲渡／廃棄するときは	27			
10	安全装置	28			

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容ですので、必ずお守りください。

表示と意味は、次のようになっています。

⚠ 危険 (DANGER)

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示します。

⚠ 警告 (WARNING)

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ 注意 (CAUTION)

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害*の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、業務用施設や栽培物および動植物に関わる拡大損害を意味します。

図記号の意味は、次のようになっています。



注意

注意（危険、警告を含む）を示します。
具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。



禁止

禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、○の中や近くに絵や文章で示します。



必ず行う

強制（必ずすること）を示します。
具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。

ネポン指定以外の部品などの 取り付けについて

ネポン指定以外の部品などの取り付けおよび使用は、製品の性能を損ねる改造行為となります。
改造を行った場合、弊社は保証期間内でも製品に関する一切の責任は負いません。
ネポン指定以外の部品などの使用による事故、機器の故障およびその他のトラブルなどは、すべてお客様の責任の範囲で処置いただくこととなります。

⚠ 警告 (WARNING)



必ず行う

工事は必ずお買い上げの販売店、お近くの
ネポン営業所、または専門の工事業者に依
頼する

専門業者以外の者が工事すると火災、感
電、漏電、冷媒漏れ、破裂による予想し
ない事故のおそれがあります。



禁止

機器周辺や温風の当たるところに、危険物
（ベンジン、シンナーなど）やスプレー缶を
近づけない

爆発、火災のおそれがあります。



禁止

指定された電源・周波数以外は使用しない
本体銘板に記載された電源・周波数で使
用してください。

一致しないと、火災、事故などのおそれ
があります。



禁止

施設園芸の用途以外で使用しない
事故、故障のおそれがあります。



必ず行う

冷媒はR410Aを必ず使用する
異常高圧による冷媒配管の破裂により、
けがのおそれがあります。



禁止

強い衝撃を与えない

機器に物をぶつけたり、機器を落としたり
しないでください。
機器の破損により火災、やけど、感電の
おそれがあります。

⚠ 警告 (WARNING)



機器本体や冷媒配管などに乗らない
冷媒漏れ、けが、機器の変形による破損のおそれがあります。



電源コードに無理な力を加えたり、物を載せたりしない
電源コードが傷ついて火災、感電のおそれがあります。



運転中や運転停止後は機器や冷媒配管に触らない
高温や低温になるため、やけどや凍傷のおそれがあります。



異常時（異音・異臭）・故障時は使用しない
火災、感電、事故のおそれがあります。
お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所に連絡してください。



冷媒が漏れたら火気厳禁

万一、冷媒がハウス内に漏れ、火気に触れると有毒ガスが発生するおそれがあります。
燃焼器具などの火気を消してハウス内の換気を行い、お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所に連絡ください。
冷媒漏れの修理を行った場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことを修理業者に確認のうえ、運転を再開してください。



この説明書に記載されている点検・お手入れ以外は、絶対に機器の分解・修理、改造をしない
お客様ご自身で修理などを行い使用すると、事故のおそれがあります。



移設する場合は、必ずお買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所に依頼する
専門業者以外の者が移設すると、火災、感電、漏電、冷媒漏れ、破裂による事故のおそれがあります。

⚠ 注意 (CAUTION)



取扱説明書をよく読む

安全にご使用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよく読み記載内容に従いご使用ください。



工事が正しく完了しているか確認する

製品に同梱されている工事説明書に沿って、工事完了後の確認をしてください。
施工不備があると火災、感電、事故のおそれがあります。



機器は基礎の上に設置しており、転倒しないようにアンカーボルトで固定してあるか確認する

固定が不十分なまま使用すると、機器が転倒して、けがや火災のおそれがあります。



アース線が確実に接続されているか確認する

故障や漏電したときに感電するおそれがあります。



指定以外の部品を使用しない

オプション品を含む部品は、当社指定のものを使用してください。
事故、故障のおそれがあります。



ぬれた手で、スイッチなどを操作しない
感電のおそれがあります。



機器内部や制御盤内の配線部には手を触れない

感電、けがのおそれがあります。
取扱説明書やサービスの指示で機器内部や制御盤内の配線部に触る場合は、電源を必ず切って、十分注意して対応してください。



機器の回転部に手を触れない

機器が突然動きだし、けがのおそれがあります。

⚠注意 (CAUTION)**温風に直接当たらない**

低温やけどや脱水症状などの健康障害、体調悪化のおそれがあります。



水ぬれ禁止

機器や電源に、水や農薬をかけない

感電、機器故障、製品寿命を損なうおそれがあります。



接触禁止

雷が発生しているときは、機器に触れない
火災、感電のおそれがあります。

禁止

落雷があったときは、機器を運転しない

落雷の影響で機器が故障して、火災、感電のおそれがあります。
運転を再開する前に、お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所に連絡してください。



必ず行う

地震が発生した後は、運転を停止し、分電盤などの元電源を切る

地震が発生したときは、まず身の安全を確保してください。揺れがおさまって付近の安全を確認してから、運転を停止し、元電源を切ってください。
火災、機器破損、異常運転のおそれがあります。



禁止

水没した機器は使用しない

火災、感電、事故のおそれがあります。
水没した機器の処置方法については、お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご連絡してください。



必ず行う

譲渡のときは取扱説明書を添付する

お使いになっている機器を他に売ったり、譲渡したりするときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を機器と一緒に渡してください。



必ず行う

日常の点検・お手入れは必ず行う

機器故障、予想しない事故のおそれがあります。



必ず行う

定期的に点検・整備を依頼する

定期的に正しく点検・整備を受けないと、機器故障、予想しない事故のおそれがあります。



必ず行う

お手入れをするときは、運転を停止し、分電盤などの元電源を切る

けが、感電のおそれがあります。



必ず行う

部品交換や配線作業をするときは分電盤などの元電源を切る

分電盤などの元電源を入れたまま、機器内部に触ると感電、機器が故障するおそれがあります。

2

誰でもヒーポンについて

誰でもヒーポンは、ハウスカオンキに据え付けてハウスカオンキとともに暖房運転することで、ハウス内の温度を保つ製品です。

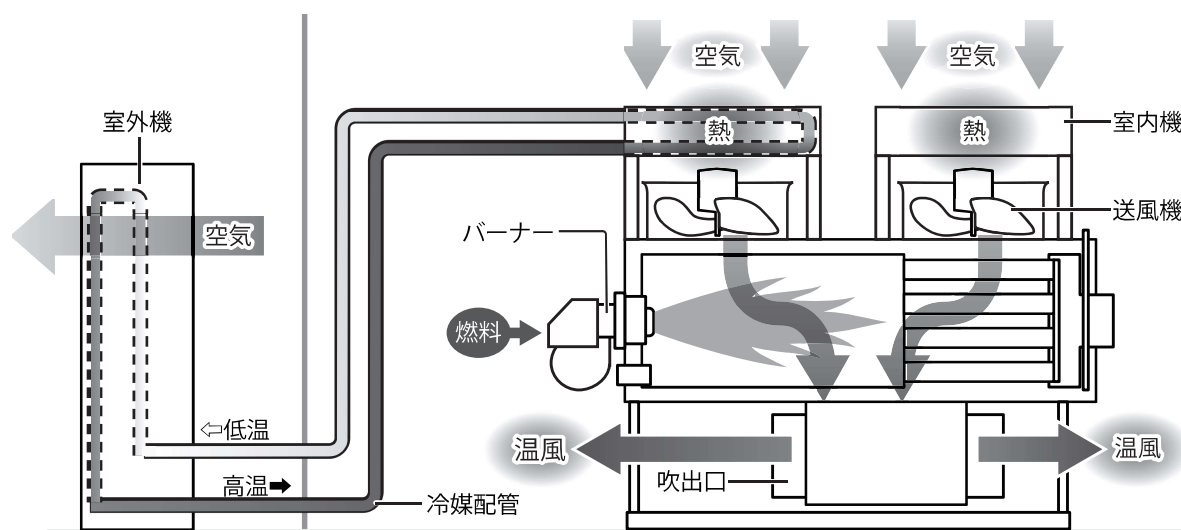
ハウスカオンキと併用することで、暖房能力や暖房効率を上げることができます。

2-1 製品のしくみ

構造

室外機で吸い込んだ外気の熱を、冷媒で室内機に運びます。運ばれた熱は、室内機に吸い込まれた空気に放出され、ハウスカオンキの送風機によって吹出口から温風が出ます。

ハウスカオンキの燃焼運転を最小限に抑えることで、燃料消費量とCO₂排出量を削減します。

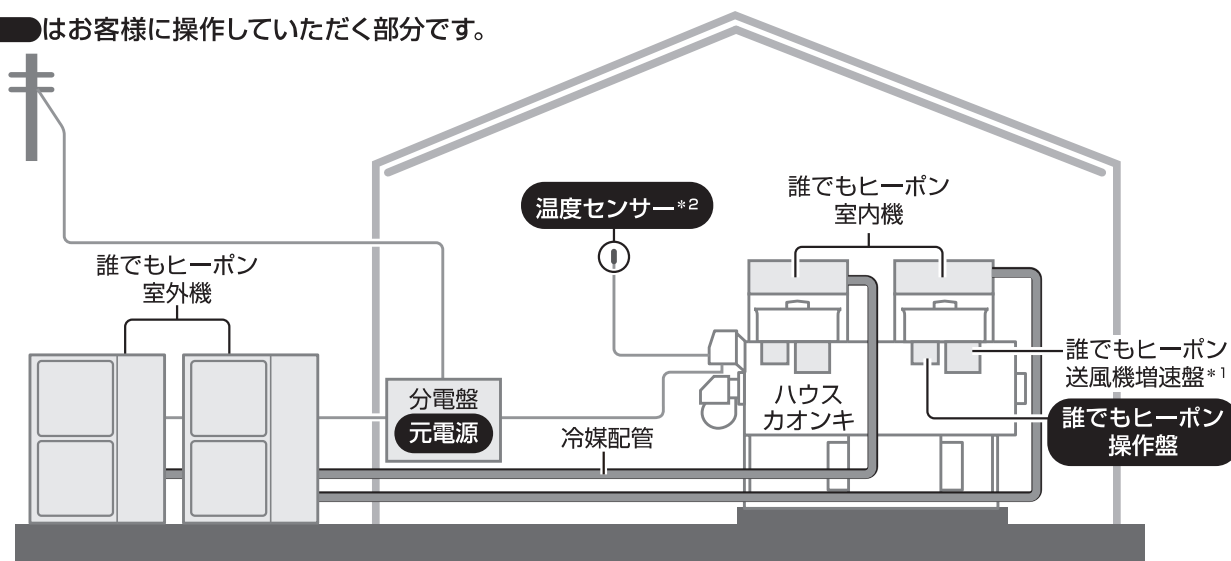


誰でもヒーポンについて

システム

図は標準施工の概念図です。実際の位置関係はこの図と異なります。

●はお客様に操作していただく部分です。



*1 送風機増速盤は、50Hz地区用別売品です。(ハウスカオンキ30型は、送風機増速盤は不要です。)

*2 温度センサーは、運転方法・接続する機器により接続先が異なります。

2-2 製品型式と意味

誰でもヒーポンの型式は、次のような意味を表しています。

セット型式・室内機・室外機

EHP 6 2

① ② ③ ④

① 製品	EHP：誰でもヒーボン
② 能力	6：6馬力
③ シリーズ	2：2型
④ 機器区分	なし：室内機・室外機セット品 N：室内機 G：室外機

操作盤

EHP OB

① ②

① 製品	EHP：誰でもヒーボン
② 種類	OB：操作盤

送風機増速盤（50Hz地区のみ）

送風機増速盤は、電源周波数50Hz地区で使用する場合に必要な別売品です。（ハウスカオンキ30型は、送風機増速盤は不要です。）

必要な風量を確保するため、必ず設置してください。

EHP FC

① ②

① 製品	EHP：誰でもヒーボン
② 種類	FC：送風機増速盤

2-3 運転方法の選択

誰でもヒーポンは他の機器からの運転信号を受けて暖房運転します。

運転方法	必要な制御機器	参照ページ
A ハウスカオンキ連動運転	—	9ページ
B ハウスカオンキ連動運転+誰でもヒーポン遅延運転	ファンタイマセット	10ページ
C ネポンサーモセット（温度調節器）による運転	ネポンサーモセット	10ページ
D 4段サーモNT-145（温度調節器）による運転	4段サーモNT-145	11ページ
E ハイブリッド制御による運転	省エネハイブリッド制御盤NT-602 ／統合環境制御盤MC-6001 ／EHPハイブリッド制御基板セット	12ページ

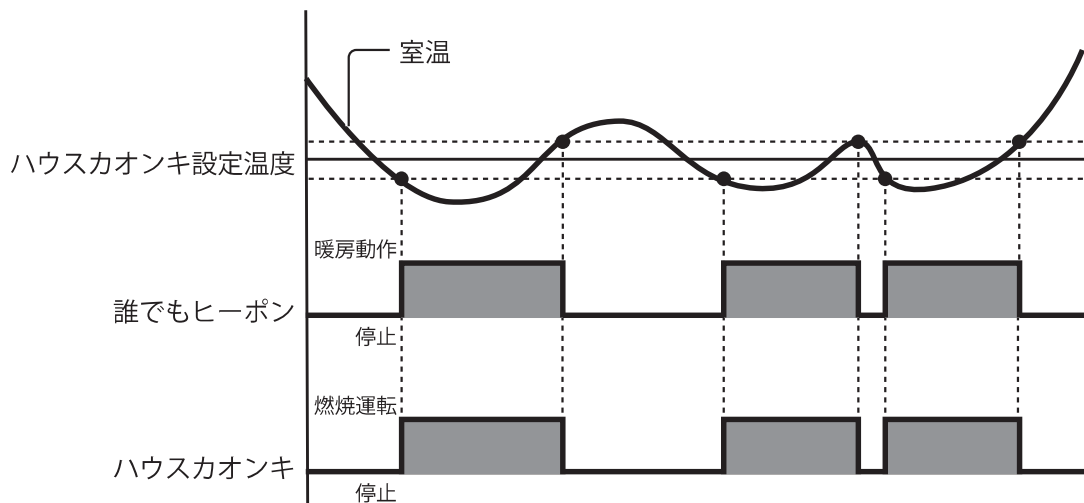
Aハウスカオンキ連動運転

最もシンプルな運転方法です。ハウスカオンキの燃焼に連動して、誰でもヒーポンが暖房運転をします。

ハウスカオンキと誰でもヒーポンとが連動運転するため、ハウスカオンキの運転時間が短くなり、燃料消費量の低減が期待できます。

◎他の制御機器を接続する必要はありません。

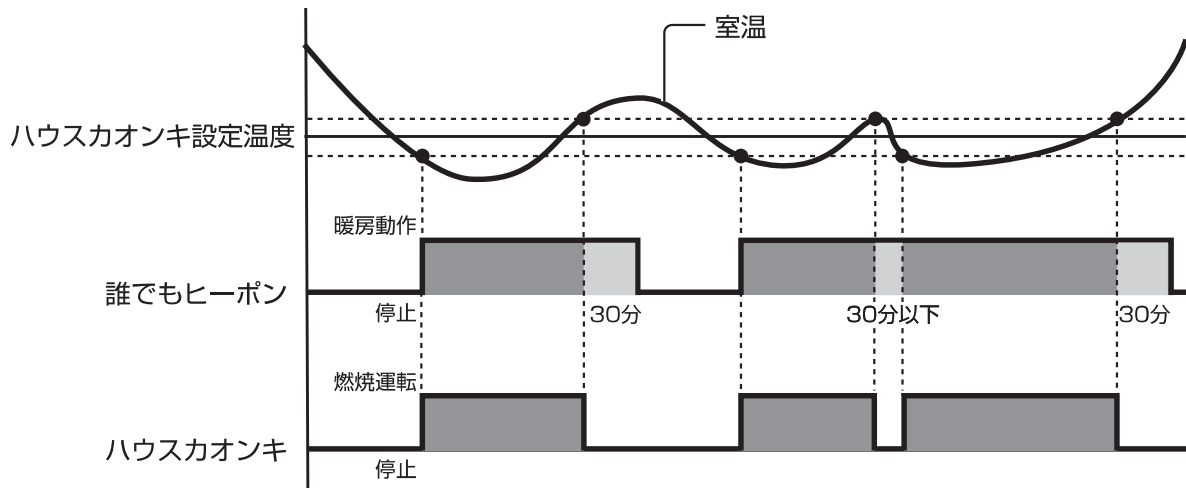
◎誰でもヒーポンの単独運転はできません。



1121

ハウスカオンキと同時に誰でもヒーポンの運転を開始し（**A**ハウスカオンキ連動運転と同じ）、ハウスカオンキ停止30分後に誰でもヒーポンを停止させる（遅延運転）方法です。誰でもヒーポンの暖房運転時間を延ばし、ハウスカオンキの運転時間を短くすることで、燃料消費量の低減が期待できます。

- ◎誰でもヒーポンの遅延運転時間は30分固定で、変更はできません。
◎遅延運転以外で、誰でもヒーポンを単独で運転することはできません。



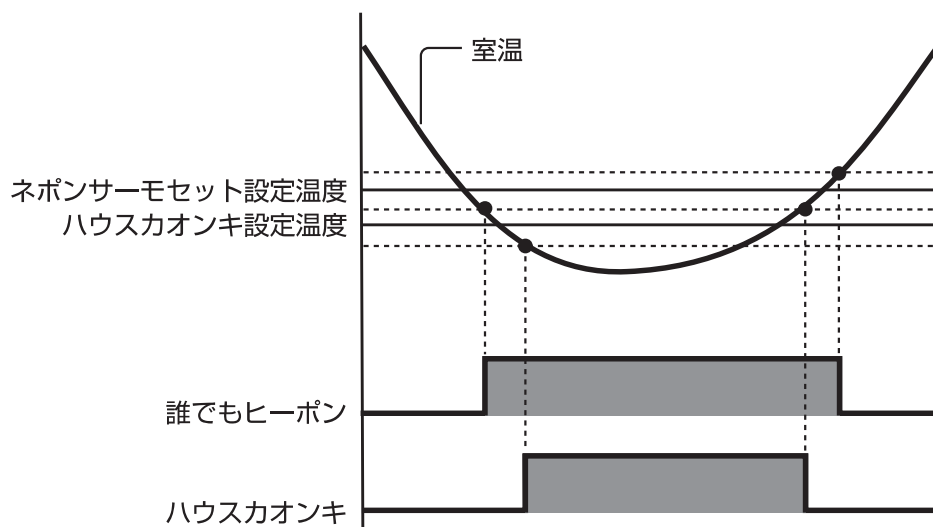
11

ネポンサーモセットで設定した温度に合わせて誰でもヒートポンプを運転する方法です。ハウスカオンキより誰でもヒートポンプの設定温度を高くして、誰でもヒートポンプを優先して運転することで、燃料消費量の低減が期待できます。

- ◎設定できる温度は1つです。

お願い

●ハウス内の設定温度を維持するために、必ずハウスカオンの元電源・電源スイッチを入れてください。



■4段サーモNT-145（温度調節器）による運転

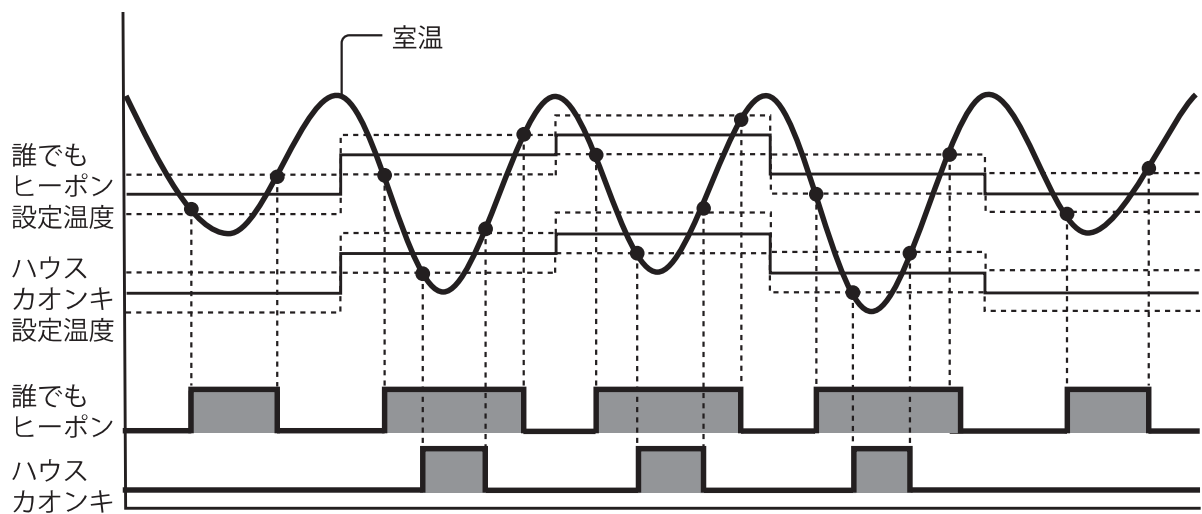
4段サーモNT-145（別売品）の接続が必要です。

誰でもヒーポンの4段サーモと、ハウスカオンの4段サーモの、それぞれの設定温度に合わせて誰でもヒーポンとハウスカオンキとを運転する方法です。ハウスカオンキより誰でもヒーポンの設定温度を高くして、誰でもヒーポンを優先して運転することで、燃料消費量の低減が期待できます。

◎ハウスカオンキ用と誰でもヒーポン用の4段サーモをそれぞれ用意する必要があります。

お願い

●ハウス内の設定温度を維持するために、必ずハウスカオンの元電源・電源スイッチを入れてください。



■ハイブリッド制御による運転

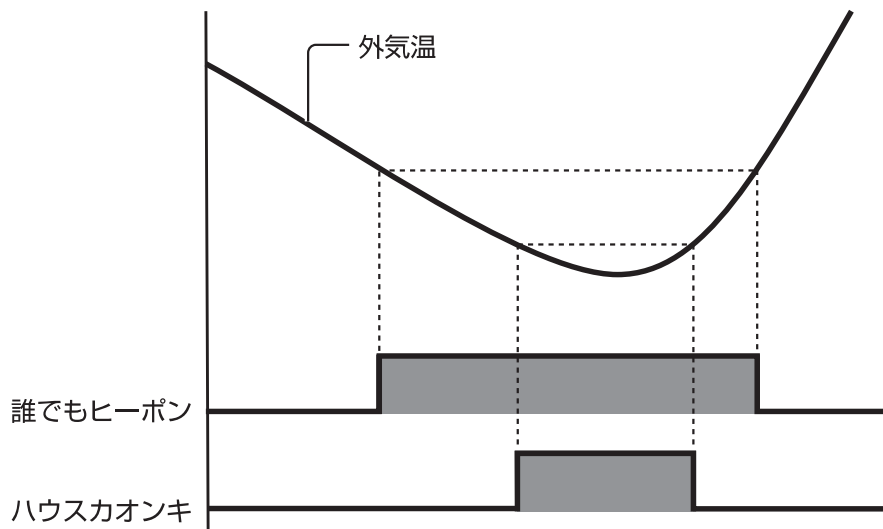
次の機器のいずれかの接続が必要です。

◎省エネハイブリッド制御盤NT-602（別売品）

◎統合環境制御盤MC-6001（別売品）

◎EHPハイブリッド制御基板セット（別売品）

誰でもヒートポンプを単独で運転し、暖房能力が不足したらハウスカオンキを補完的に運転する方法です。
誰でもヒートポンプを優先的に運転することで、節油効果が期待できます。



省エネハイブリッド制御盤NT-602 ／ 統合環境制御盤MC-6001

ハイブリッド制御運転の多段変温、運転特性の設定など、きめ細やかな設定のハイブリッド制御運転が可能です。

EHPハイブリッド制御基板セット

簡易的なハイブリッド制御運転です。

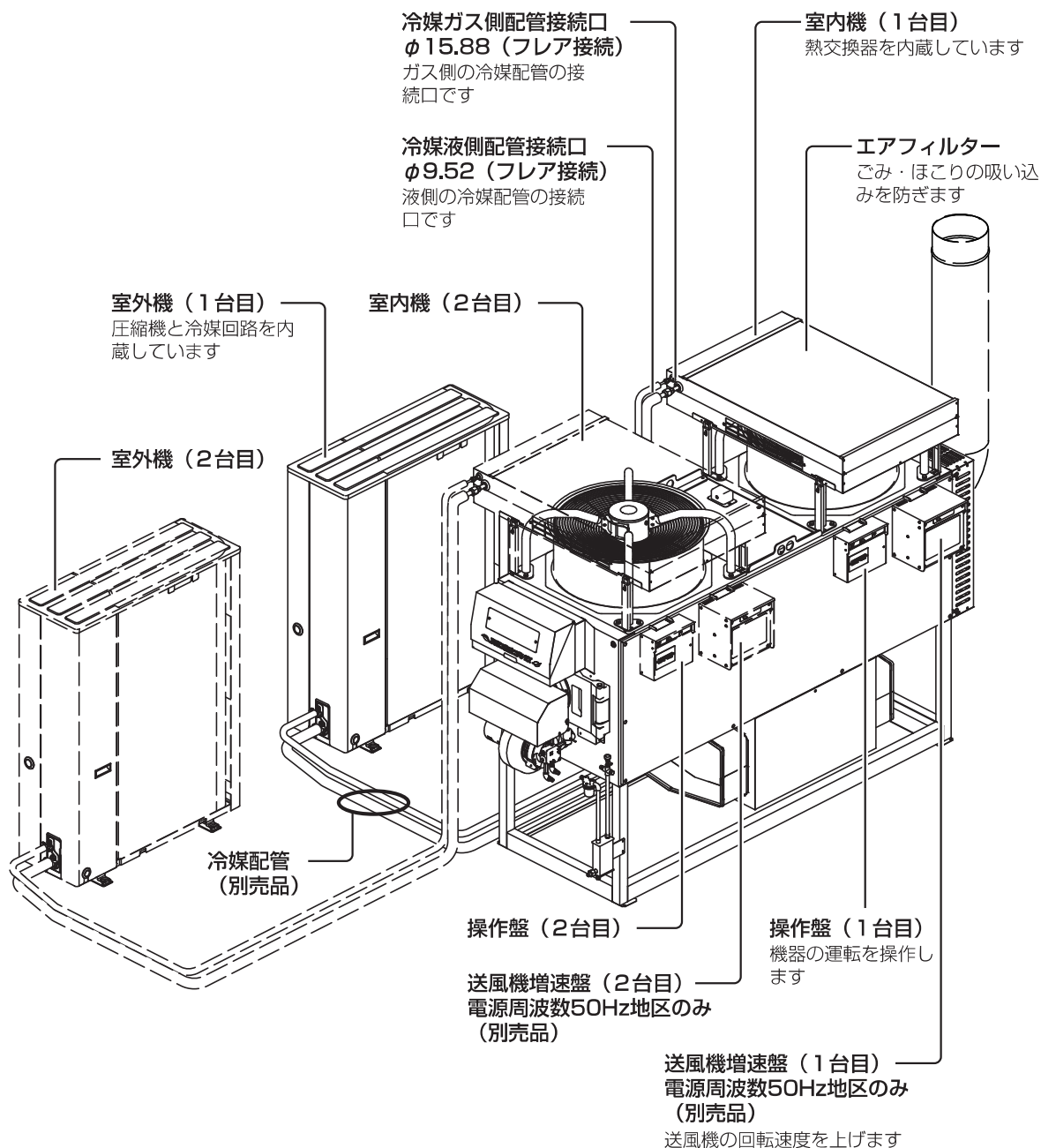
別売品の4段サーモNT-145と組み合わせると4段変温が可能です。

3

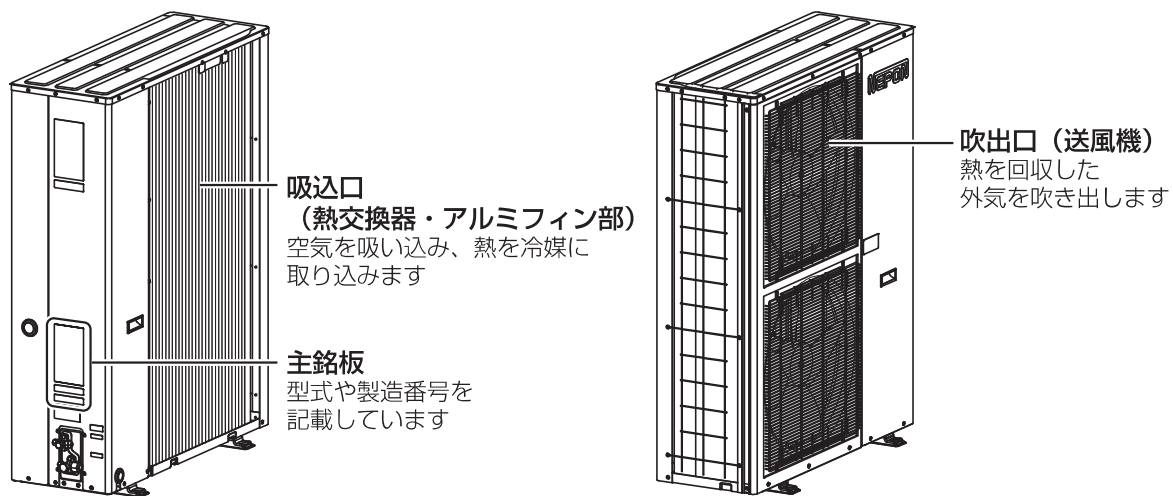
各部の名前とはたらき

3-1 本体

■HK4027TC への取り付け例



室外機

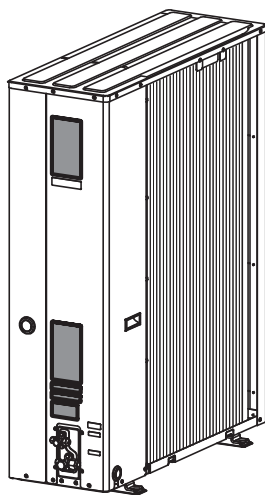


注意

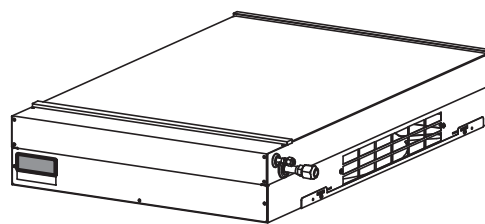
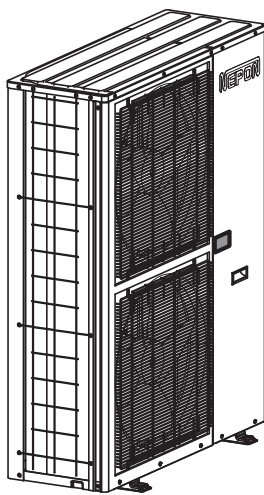
熱交換器のアルミフィン部に手を触れない
けがのおそれがあります。

銘板

の部分に、製品の情報や安全上のご注意などを表示しています。

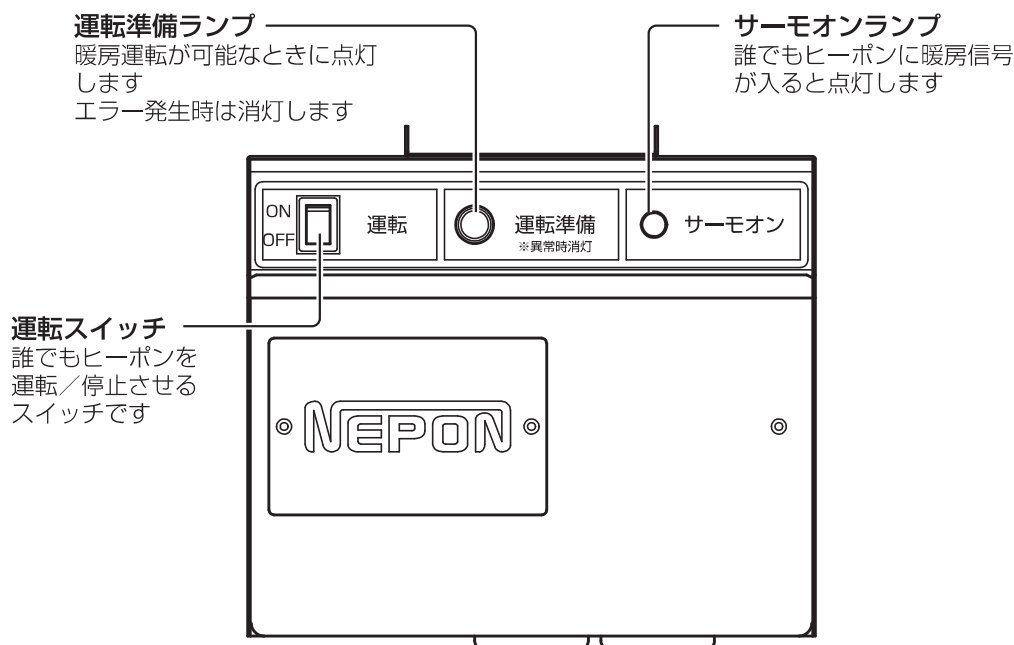


室外機



室内機

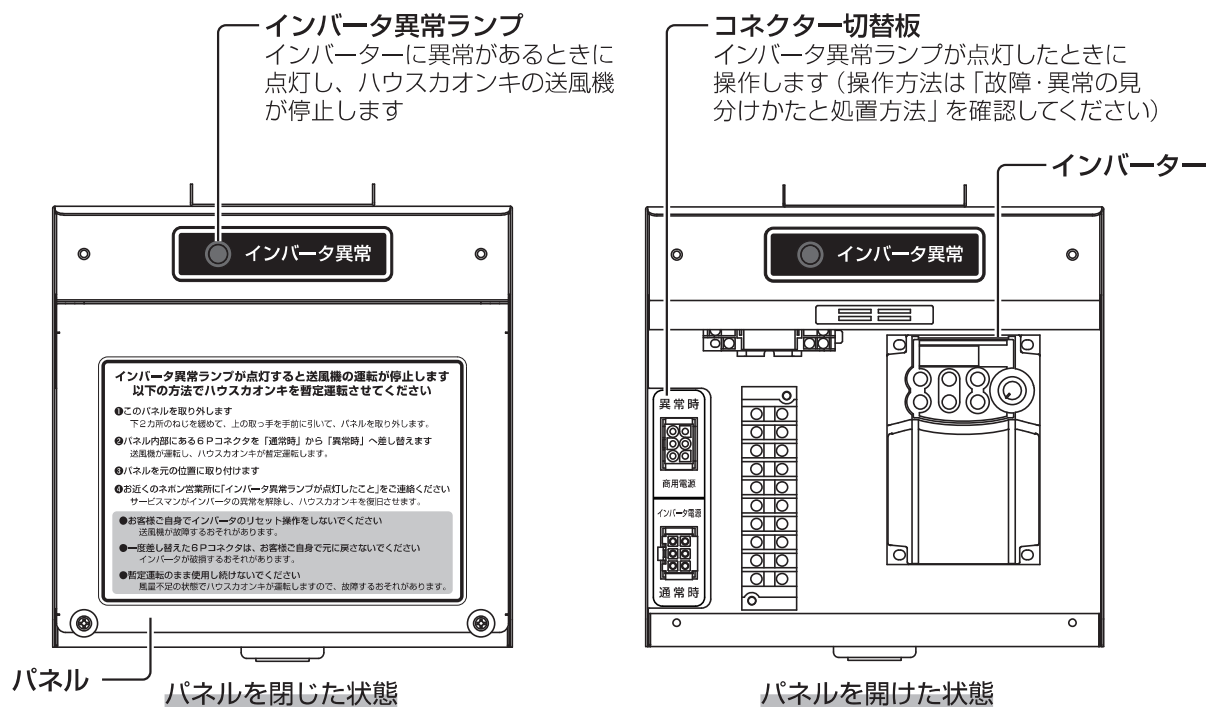
3-2 操作盤



3-3 送風機増速盤 (50Hz地区のみ)

送風機増速盤は、電源周波数50Hz地区で使用する場合に必要な別売品です。(ハウスカオンキ30型は、送風機増速盤は不要です。)

必要な風量を確保するため、必ず設置してください。



4

使用前の準備と確認

使用前に必ず次の項目をご確認ください。

正しく行なわれていない項目は、必ず対応してから「5 使いかた」に進んでください。

誰でもヒーポン周辺

- ☐ 周辺に危険物や可燃物はありませんか
- ☐ 周辺に落ち葉やごみが溜まっていませんか
- ☐ ほこりなどが浮遊したり、溜まったりしていませんか
- ☐ 吸込口や吹出口はふさがっていませんか
- ☐ エアフィルターは取り付けてありますか

電気配線

- ☐ 試運転の確認は済んでいますか (➡工事説明書「9. 試運転」)
- ☐ 誰でもヒーポンと接続している機器（ハウスカオンキや外部制御盤）の温度センサーを、電源配線と束ねていませんか
温度センサーと電源配線を束ねると、誤動作のおそれがあります。
- ☐ 接続している機器の温度センサーの感温部は、先端を上向きに設置していますか

電源

- ☐ 誰でもヒーポンの元電源は入っていますか
誰でもヒーポンの元電源は、運転する6時間以上前に入れてください。
元電源を入れると、操作盤の運転準備ランプが点灯します。
*誰でもヒーポン本体に電源スイッチはありません。
- ☐ 誰でもヒーポンと接続しているハウスカオンキの元電源・電源スイッチは入っていますか
ハウスカオンキの電源ランプが点灯していることを確認してください。

お願い

- 一部の型式では、室内機の据え付け方向によって、制御盤の扉が全開にならない場合があります。
ハウスカオンキ27型・30型は制御盤にあるステーを使用してください。
25型以前のハウスカオンキにはステーはありません。作業中に扉が閉まらないように注意してください。

誰でもヒーボンの暖房運転と停止方法について説明しています。
事前に➡16ページ「4 使用前の準備と確認」を完了させてください。

5-1 電源を入れる

誰でもヒーボンを初めて使用するときや、長期間使用していなかった場合は、運転する6時間以上前に元電源を入れてください。元電源を入れてすぐに運転を開始すると、圧縮機が故障するおそれがあります。

誰でもヒーボン本体に電源スイッチはありません。

誰でもヒーボンと接続しているハウスカオンの元電源・電源スイッチを入れてください。

お願い

- 一部の型式では、室内機の据え付け方向によって、制御盤の扉が全開にならない場合があります。
ハウスカオン27型・30型は制御盤にあるステーを使用してください。
25型以前のハウスカオンにはステーはありません。作業中に扉が閉まらないように注意してください

5-2 運転する

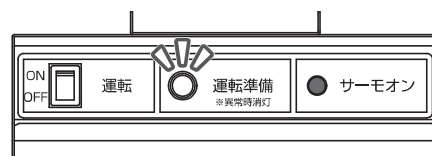
誰でもヒーボンの運転を開始するための手順です。

① 接続している機器の設定を調整する

誰でもヒーボンは接続している機器からの信号を受けて稼働します。
接続している機器によって、設定方法が異なります。運転方法・接続している機器を確認して
(➡9ページ「2-3 運転方法の選択」参照)、誰でもヒーボンを稼働させる温度を設定してください。

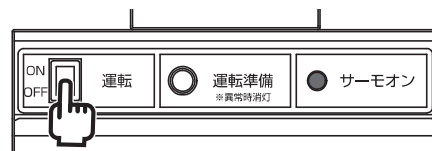
② 操作盤の運転準備ランプの点灯を確認する

誰でもヒーボンを複数台設置している場合は、すべての操作盤の運転準備ランプが点灯していることを確認してください。

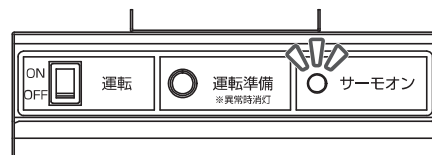


③ 操作盤の運転スイッチを[ON]にする

誰でもヒーボンを複数台設置している場合は、すべての操作盤の運転スイッチを[ON]にしてください。



◎接続している機器から運転信号を受けると、誰でもヒーボンが暖房運転をはじめます。
このとき、操作盤のサーモオンランプが点灯します。誰でもヒーボンを複数台設置している場合は、すべての操作盤のサーモオンランプが点灯します。



◎接続している機器から運転信号が切れると、誰でもヒーボンが暖房運転を停止します。
このとき、操作盤のサーモオンランプは消灯します。誰でもヒーボンを複数台設置している場合は、すべての操作盤のサーモオンランプが消灯します。

お知らせ

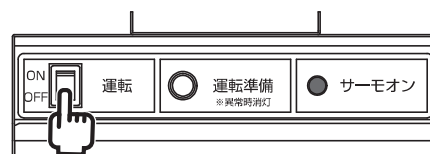
- 誰でもヒーポンを複数台設置している場合は、起動遅延タイマーが設定されています。1台ごとに2秒ずつ、最大10秒遅れて稼働します。

■操作は完了です。作りたい環境に合わせて接続している機器の設定を変更してください。

5-3 停止する

誰でもヒーポンの運転を停止するときは、操作盤の運転スイッチを[OFF]にします。

誰でもヒーポンを複数台設置している場合、すべての誰でもヒーポンを停止したいときは、すべての操作盤の運転スイッチを[OFF]にしてください。



◎サーモオンランプが点灯しているときに操作盤の運転スイッチを[OFF]にすると、操作した操作盤のサーモオンランプが消灯します。

■操作は完了です。

安全にお使いいただくため、必ず日常の点検・お手入れをしてください。

6-1 毎日の点検・お手入れ

すべての項目でチェックが入るように対処してください。

誰でもヒーポン周辺

- ☐ 周辺に危険物や可燃物はありませんか
- ☐ 周辺に落ち葉やごみが溜まっていませんか
- ☐ ほこりなどが浮遊したり、溜まったりしていませんか
- ☐ 吸込口や吹出口はふさがっていませんか
- ☐ 外観や運転状態に異常はありませんか

電気配線

- ☐ ハウスカオンキや接続している機器の、温度センサーの感温部の先端を上向きにしていますか

異音・異臭

- ☐ 異音や異臭はありませんか
異音や異臭がある場合は、使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご連絡ください。

6-2 月に1回の点検・お手入れ

室内機のエアフィルターを掃除する

1か月に1回、およびエアフィルターが汚れているときは、エアフィルターを掃除してください。定期的に掃除することで、暖房性能を保ち、電気代の節約や故障リスクの低減に役立ちます。



注意

安定した足場で作業する

高所の作業をするときは、安定した足場を設けて作業してください。
転落してけがをするおそれがあります。

準備する

◎必要に応じて、次のものを準備してください。

- ・やわらかいブラシ
- ・掃除機
- ・ゆすぎ洗い用の入れ物
- ・ぬるま湯
- ・中性洗剤

◎操作盤の運転スイッチを[OFF]にし、ハウスカオンキの運転を停止してください。
エアフィルターの掃除は、機器が完全に停止してから行ってください。

掃除する

エアフィルターは、必ず室内機から取り外してから掃除してください。

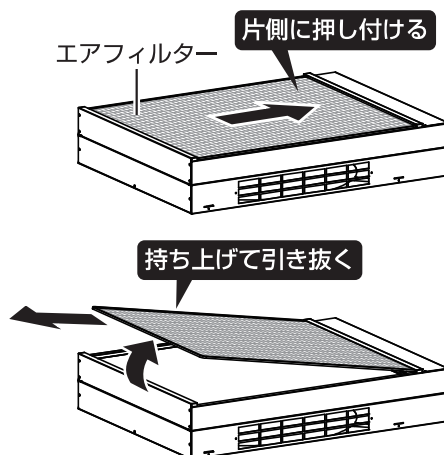


注意

熱交換器のアルミフィン部に手を触れない
けがのおそれがあります。

1 エアフィルターを室内機から取り外す

エアフィルターを片側に押し付けます。
押し付けた反対側を持ち上げて引き抜いてください。



2 エアフィルターのごみを取り除き、水洗いする

傷を付けないように注意しながらブラシなどで汚れを落とすか、掃除機で汚れを吸い取ります。
汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯（30℃程度）でエアフィルターをゆすぎ洗います。
最後に、水で洗剤をよく洗い流してください。

3 エアフィルターを乾かす

日陰でエアフィルターを十分に乾かします。
直射日光に当てたり、ドライヤーや火を使用したりして乾かさないでください。エアフィルターが損傷します。

4 室内機にエアフィルターを取り付ける

エアフィルターを外した状態で機器を使用しないでください。故障やけがのおそれがあります。

■作業は完了です。

ハウスカオンの元電源・電源スイッチを入れて、操作盤の運転スイッチを[ON]にすると、運転を再開できます。

誰でもヒーポン本体を掃除する

操作盤の運転スイッチを[OFF]にし、ハウスカオンの運転を停止させてから、柔らかい布で室内機と室外機をから拭きします。

汚れが落ちにくい場合は、中性洗剤を溶かした30℃程度のぬるま湯で拭き取ったあと、水拭きします。
直接水をかけて洗わないでください。

6-3 3か月に1回の点検・お手入れ

簡易点検を実施する（フロン排出抑制法に基づく点検）

➡31ページ「12 フロン排出抑制法について」参照

6-4 年に1回の点検・お手入れ

定期点検を依頼する



注意

定期的に点検・整備を依頼する

機器故障、予想しない事故のおそれがあります。

この製品は、定期点検が必要です。

この製品の性能を維持し、安全にお使いいただくために、定期点検(有料)をお受けください。

➡34ページ「定期点検について」参照

機器の設置状態を確認する

機器を設置している架台などに傷みがないか確認してください。傷んだ状態で使用し続けると、機器の落下につながり、けがのおそれがあります。

7-1 使用を中断するときは

誰でもヒーポンの元電源を切り、誰でもヒーポンのお手入れをしてください。

- ➡19ページ「室内機のエアフィルターを掃除する」参照
- ➡20ページ「誰でもヒーポン本体を掃除する」参照

ハウス内が50℃以上になる場合は、操作盤や送風機増速盤などの制御機器を取り外す必要があります。専門業者に依頼してください。

7-2 使用を再開するときは

工事説明書「9 試運転」、本書➡16ページ「4 使用前の準備と確認」をご確認ください。

誰でもヒーポンを運転する6時間以上前に元電源を入れてください。元電源を入れてすぐに運転を開始すると、圧縮機が故障するおそれがあります。➡17ページ「5 使いかた」参照

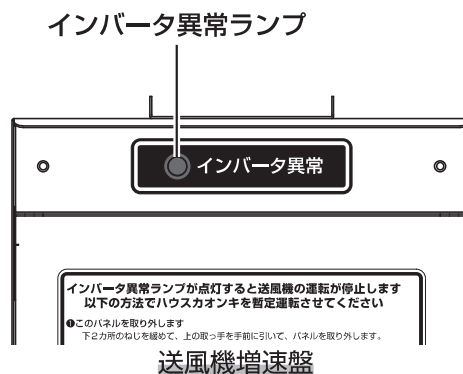
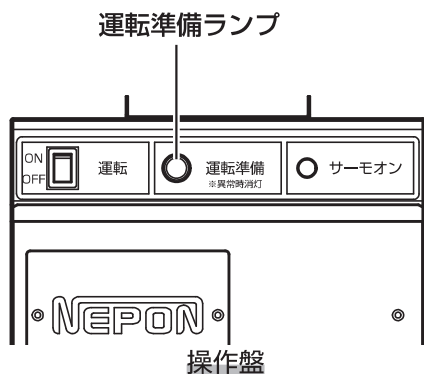
8

故障・異常の見分けかたと処置方法

故障かなと思った場合は、次の内容を確認して処置してください。

原因が分からないときや故障が確認されたときは、必ずお買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にお問い合わせください。

8-1 症状・表示から調べる



50Hz地区のみ（ハウスカオンキ30型は除く）

*ハウスカオンキのランプの位置は、お使いのハウスカオンキの取扱説明書を参照してください。

症状	表示				原因と対処方法
こんなとき	操作盤	送風機 増速盤	ハウスカオンキ		
	運転準備 ランプ	インバータ 異常ランプ	電源 ランプ	運転 ランプ	
運転しない	消灯	消灯	点灯	点灯	誰でもヒーポンの元電源を入れてください 元電源を入れても運転準備ランプが点灯しない場合は、使用を中止し、お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご連絡ください
					漏電遮断器は作動していませんか？ →使用を中止し、お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご連絡ください
	点灯		消灯	消灯	ハウスカオンキの元電源・電源スイッチを入れ、運転を開始してください
			点灯		ハウスカオンキの運転スイッチを押してください
				点灯	接続している機器は運転していますか？正しく設定されていますか？ →接続している機器の取扱説明書を確認して、設定を見直してください
	消灯	点灯			インバータに異常があります。➡24ページ「送風機増速盤 インバータ異常ランプが点灯しているとき」を参照して対処してください
	点灯				

症状	表示				原因と対処方法
こんなとき	操作盤	送風機 増速盤	ハウスカオンキ		
	運転準備 ランプ	インバータ 異常ランプ	電源 ランプ	運転 ランプ	
暖房が効かない	点灯	消灯	点灯	点灯	室内機のエアフィルターが目詰まりしていませんか？ →エアフィルターを掃除してください
					吸込口や吹出口はふさがっていませんか？ →障害物を取り除いてください
					ハウスカオンキの送風ダクトにつぶれや折れはありませんか？ →送風ダクトを正しく施工してください
ブレーカーが度々切れる	消灯				使用を中止し、お買い上げの販売店、またはお近くのネボン営業所にご連絡ください
運転動作や運転音に異常がある	点灯				

送風機増速盤 インバータ異常ランプが点灯しているとき

送風機増速盤のインバータ異常ランプが点灯しているときは、インバータに異常があります。
お買い上げの販売店、またはお近くのネボン営業所にご連絡ください。サービスマンによる復旧が必要です。

◎ハウスカオンキは、送風機が停止し、暖房運転を始めると不着火エラーが発生します。

応急運転のしかた

異常を取り除く前に暖房する必要があるときは、誰でもヒューポンを停止してください。
ハウスカオンキは、商用電源の50Hzに変更した状態にして応急的に運転させることができます。次の手順に従って、ハウスカオンキの応急的な運転を行ってください。

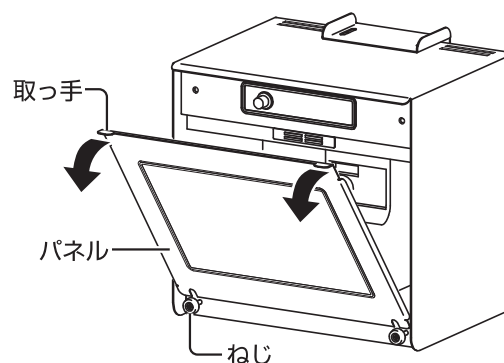
お願い

●インバータ異常ランプが点灯したときは、お近くの販売店、またはお近くのネボン営業所に必ず連絡し、復旧を依頼してください。
ハウスカオンキの送風機が運転しないと、作物障害のおそれがあります。
応急的な運転は、送風機の風量が通常より少なくなるため、ハウスカオンキの缶体の寿命が短くなるおそれがあります。

- 1 ハウスカオンキの電源スイッチ・元電源を切る
- 2 操作盤の運転スイッチを【OFF】にする

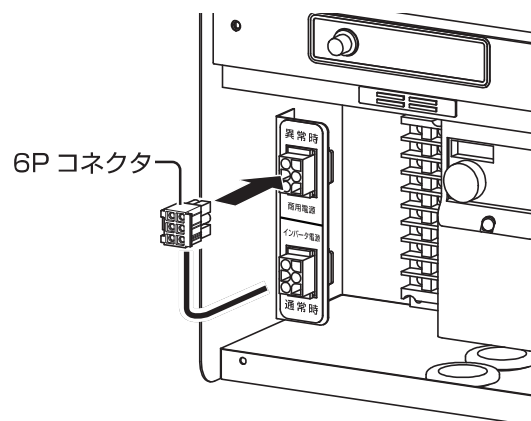
③ 送風機増速盤のパネルを取り外す

送風機増速盤のパネル下部にあるねじ2カ所を緩め、パネル上部の取っ手を手前に引いて、パネルを取り外します。



④ 送風機増速盤内部の6Pコネクタを〔通常時〕から〔異常時〕に挿し替える

ハウスカオンの送風機が、インバータを介せずに商用電源（50Hz）で運転するようになります。



⑤ 送風機増速盤のパネルを元の位置に取り付ける

⑥ ハウスカオンの元電源・電源スイッチを入れる

⑦ ハウスカオンの運転を開始する

◎ハウスカオンキにエラーが発生している場合は、ハウスカオンの取扱説明書を参照して、エラーをリセットしてください。エラーがリセットされると、運転が始まります。

■手順は完了です。

8-2 こんなときは故障ではありません

こんなとき	理由
運転中や運転停止時に水が流れるような音がする	運転中に冷媒が流れることにより、水が流れるような「シュルシュル」「ゴボゴボ」という音が出ることがあります
吹き出す風がにおう	室内機内部に付いたハウス内のにおいで、風がにおうことがあります
停止直後に再運転ができない	圧縮機を保護する機能の働きで、運転を停止してから3分間は運転ボタンを押しても運転しません。 急に運転することがあるため、停止していても、送風機に手を触れないでください
運転中に室外機から水や湯気が出る	デフロスト運転*したとき、室外機に付着した霜が解けて、水や湯気が出ることがあります
運転中に室外機の送風機が回らない	デフロスト運転*するときに、送風機を止めることがあります。 条件を満たすと、運転を再開します
運転中に室内機の熱交換器に霜がつく	デフロスト運転*したとき、室内機の熱交換器に霜がつくことがあります
運転中や運転停止時に「ピシ、ピシ」という音がする	温度変化によって部品が伸縮するときに発生する音です。 運転や性能に影響はありません
運転中や運転停止直後に「シュ」という音がする	室外機の冷媒切換弁が作動するときに発生する音です。 運転や性能に影響はありません
元電源を入れただけで運転を開始する	運転ボタンを押したまま元電源を切った場合、元電源を入れると運転を開始します。 思わぬ事故や機器故障のおそれがあるため、元電源を使用した運転や停止の操作をしないでください

*デフロスト運転

暖房運転中に外気温度が低くなると、誰でもヒートポンプ室外機の熱交換器に霜が付着することがあります。誰でもヒートポンプには付着した霜を取り除くための機能があり、この機能をデフロスト運転といいます。デフロスト運転中は、誰でもヒートポンプ室外機の送風機が停止します（ハウスカオンの送風機も停止することがあります）。

9-1 停電が起きたときは

停電すると、誰でもヒーポンとハウスカオンキは停止します。停電から復帰すると、自動的に運転を再開します。復帰後は念のため、誰でもヒーポンとハウスカオンキや、接続している機器に異常がないことを確認してください。

9-2 雷が発生したときは

大きな雷が発生することが予想され、雷の影響を受けずに元電源のある場所に移動して安全な場所に戻るこ
とができる場合は、事前に元電源を切ってください。

雷の影響がなくなったら、元電源を入れて運転を開始してください。

9-3 災害が起きたときは

地震や風水害などの災害によりハウスが倒壊するおそれがある場合は、ハウスに近づかないでください。

ハウスが倒壊するおそれがない場合は、誰でもヒーポンとハウスカオンキ、接続している機器の元電源を切り、
ハウスカオンキの燃料配管のバルブを閉めてください。

災害の影響がなくなったら、次の項目を確認してから運転を再開してください。

- ☐ 誰でもヒーポンやハウスカオンキ、接続している機器が、水没や浸水していませんか
- ☐ 誰でもヒーポンやハウスカオンキ、接続している機器に、水没や浸水の形跡はありませんか
- ☐ 機器の外観や設備に異常はありませんか
- ☐ お手持ちのハウスカオンキ取扱説明書「使用前の確認」の項目をすべて満たしていますか

項目を満たしていない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にお問い合わせください。

9-4 移設／譲渡／廃棄するときは

◎移設／譲渡するときは、必ずお買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所に連絡してください。ご自
身で移設工事を行わないでください。

◎譲渡するときは、必ず本書と工事説明書とを添付してください。

◎廃棄するときは、冷媒回収が必要です。専門業者に依頼し、絶対に不法投棄はしないでください。

誰でもヒーポンは次の安全装置を室外機に搭載しています。

安全装置が作動して運転が停止した場合、復帰には技術が必要です。お買い上げの販売店、またはお近くのネボン営業所にご連絡ください。

ハウスカオンキの安全装置については、ハウスカオンキ取扱説明書をご確認ください。

安全装置	機能
圧縮機過負荷保護装置	圧縮機の電流値が異常に大きくなったとき、過負荷保護装置が作動して運転を停止します
室外ファン過負荷保護装置	室外ファンの温度が異常に高くなったとき、過負荷保護装置が作動して運転を停止します
高圧スイッチ	冷媒配管内の圧力が異常に高くなったとき、高圧スイッチが作動して運転を停止します
低圧スイッチ	冷媒配管内の圧力が異常に低くなったとき、低圧スイッチが作動して運転を停止します
吐出管サーモスタット	圧縮機の吐出管温度が異常に高くなったとき、吐出管サーモスタットが作動して運転を停止します

11-1 仕様表

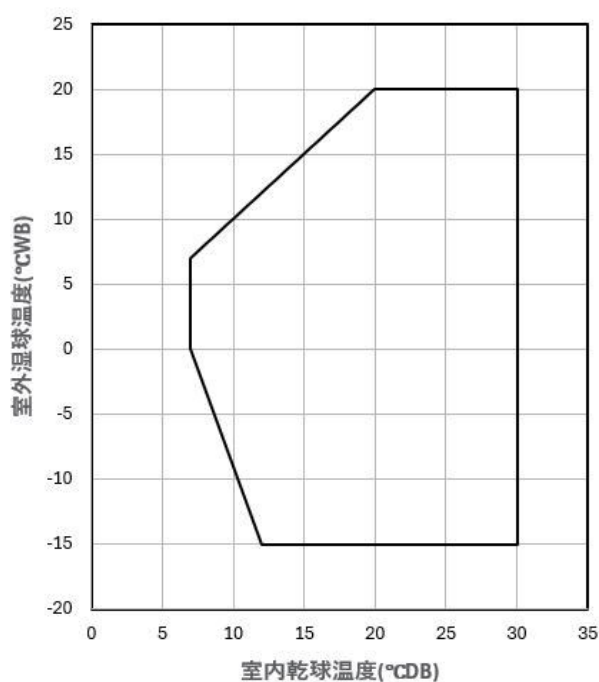
名 称			施設園芸用ヒートポンプ（一定速機）	
型 式			EHP62	
			室内機 EHP62N	室外機 EHP62G
電 源			AC200V 3相 50/60Hz	
冷 媒			R410A	
暖房定格能力		kW	16.5/19.0	
暖房定格運転特性	消費電力(注3)	kW	3.37/4.40	
	運転電流	A	14/15	
	運転力率	%	70/85	
暖房エネルギー消費効率(COP)			4.90/4.32	
設定温度範囲		℃	暖房：7～30	
圧縮機	型式		—	ZP61KCE-TF5-522
	定格出力(公称)	kW		3.70
送風機	風量	m ³ /min	ハウスカオンの送風機を使用	118/139
	機外静圧	Pa		0
	電動機定格出力	W		400×2台
クランクケースヒータ		W	—	70
最大電流		A	20/23	
始動電流		A	80/80	
外形寸法（高さ×幅×奥行）		mm	H410×W674×L1020	H1273×W970×L350
塗装色			白	白
製品質量		kg	23	120
付属品			操作盤EHP0B、取扱説明書、工事説明書、配管固定金具	
電気ヒータ			取付不可	—
冷媒配管	液配管	mm	φ9.52	
	同上接続方式		フレア接続	フレア接続
	ガス配管	mm	φ15.88	
	同上接続方式		フレア接続	フレア接続
	冷媒量（出荷時）		3.6kg（室外機）	
	冷媒調整量		配管長が15mを超えて40m以下の場合：70g/m追加（40m：1.75kg追加）	
排水口			—	内径φ25mm 排水穴×7個 内径φ20mm 排水穴×2個
騒音値（注4）		dB(A)	—	65/66
法定冷凍能力		トン	1.92/2.32（高圧ガス保安法に基づく手続きは不要）	
設計圧力		MPaG	高圧部：4.15 低圧部：2.21	

注記

- 暖房定格能力及び電気特性は、適正冷媒量において室内：15℃DB、室外：7℃DB、6℃WB条件により運転した値です。（DB：乾球温度、WB：湿球温度）
- 区切り記号「/」の左側の数値は、電源周波数50Hz時、右側は60Hz時の値を示します。
- 消費電力は、ハウスカオンの消費電力を含まない値です。
- 騒音値は、実使用環境を想定した条件で測定した値です。
- 50Hz地区でハウスカオンの下限風量を確保するために必要となります。
- 仕様・寸法等は、改良のため、予告なく変更することがあります。

使用範囲

項 目			使 用 範 囲
温度範囲	室内吸込空気温度（上限・下限）		グラフに示す範囲（※１）
	外気温度（上限・下限）		
	室内機設置雰囲気温度		室内機吸込温度とほぼ同等
配管制限	室外機・室内機間の配管長さ	片道配管長	４０ｍ以下
	室外機・室内機間の高低差	室外機が上の場合	１５ｍ以下
		室外機が下の場合	１５ｍ以下
配線制限	室外機電源の配線長さ（太さ×心数）		３０ｍ以下（５．５ｍｍ ^２ ×３心）
			３０～４０ｍ（８ｍｍ ^２ ×３心）
	室内外連絡線の長さ（太さ×心数）		４０ｍ以下（０．７５ｍｍ ^２ ×３心）
	ハウスカオンキ送風機信号線の長さ（太さ×心数）		４０ｍ以下（０．７５ｍｍ ^２ ×２心）
	アース線サイズ		φ１．６ｍｍ×単心
電源電圧	電圧変動		２００Ｖ定格の±１０％以内
	始動時の電圧低下		２００Ｖ定格の－１０％以内
圧縮機の発停頻度		１サイクル時間	６分以上（停止～停止又は始動～始動）



※1 暖房使用温度範囲

参考

電源容量		kVA	7．0／8．0
漏電遮断器定格電流		A	3 0 （感度電流 3 0 mA、動作時間 0．1 sec）
配線用遮断器	遮断容量	A	3 0

注記

1. 電源は、必ず室外機に接続してください。
2. アースはD種接地工事(接地抵抗 1 0 0 Ω以下)をして下さい。

本製品を管理（所有）されているお客様へ

本製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。

冷媒として、R410A（GWP値：2090）が使用されています。

本製品を使用するにあたり、フロン類の漏えいを防止するため、フロン排出抑制法に基づき本製品の管理者（所有者、または使用などを管理する者）は、以下のことを守る必要があります。

- ①機器を設置するとき
適切な設置、適正な使用環境を維持し、確保すること。
- ②機器を使用しているとき
適切な設置、適正な使用環境を維持し、確保すること。
定期的な熱交換器の清掃を実施すること。
機器の簡易（日常）点検※を実施すること。
※簡易点検：定期的な温度および目視による外観の点検です。（3か月に1回以上）
異音・異常振動、外観の損傷、腐食、さび、油にじみ、霜つきなどの漏えいの兆候を確認します。
- ③フロンの漏えいを発見したとき
速やかに漏えい箇所を特定し、修理すること。機器の修理をせずに充填することは原則禁止。
- ④点検や修理をした後
点検・整備記録簿に点検・修理・充填・回収に関する履歴を記録し、その記録簿を保存すること。

もし機器の異常を発見した場合は、専門的な点検・整備が必要なため、お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご相談ください。

冷媒の充填・回収には都道府県に登録された「第一種フロン類充填回収業者」への依頼が必要なため、お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にお問い合わせください。

本製品を設置する工事業者様へ

本製品の据付後「（冷媒漏えい）点検・整備記録簿」を作成していただき、フロン排出抑制法に基づいて「（冷媒漏えい）点検・整備記録簿」を保管いただくようお客様にご説明ください。

詳細は、お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にお問い合わせいただくか、以下サイトをご覧ください。

フロン排出抑制法の手引き：<https://www.env.go.jp/earth/furon/gaiyo/sanko.html>

（出典：環境省 フロン排出抑制法ポータルサイト）

冷媒漏えい点検・整備記録簿（含む簡易点検チェックシート）のエクセルシート
：<http://www.jarac.or.jp/>

（出典：日本冷凍空調設備工業連合会 JARAC）

[illegible]

[illegible]



定期点検

定期点検について



注意

定期的に点検・整備を受けてください

整備不良がありますと、事故のおそれがあります。

この製品は、定期点検が必要です。

この製品の性能を維持し、お客様が安全にお使いいただくために、定期点検（有料）をお受けください。

定期点検のお申し込み、内容や手続きに関するお問い合わせは、お近くのネポン営業所、またはカスタマーセンターまでご連絡ください。

また、製品に同封の「点検・修理申込書」でも直接お申し込みいただけます。

必要事項をご記入のうえ、FAX（フリーダイヤル）にてお申し込みください。

定期点検のお申し込み・お問い合わせは…

お近くのネポン営業所

または

カスタマーセンター

FAXによる定期点検のお申し込みは…

FAX ☎ 0120 - 926413



保証とアフターサービス

保証について

- この製品は、保証書を別途添付しています。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から1年です。
保証期間中でも有料となる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。
補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

23～26ページ「8 故障・異常の見分けかたと処置方法」に従ってお調べいただき、なお異常があるときは、元電源を切って（電源プラグがある場合は、電源プラグを抜いて）、お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご連絡ください。

製品に同封の「点検・修理申込書」でも直接修理をお申し込みいただけます。
必要事項をご記入のうえ、FAX（フリーダイヤル）にてお申し込みください。

■保証期間中は… 修理に関しては保証書をご覧ください。 保証書の規定に従って修理させていただきます。	■保証期間が過ぎているときは… 修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
■修理料金の仕組み 修理代は技術料・部品代・交通費から構成されています。 技術料 …故障した商品を正常に修復するための料金です。 部品代 …修理に使用した部品代金です。 交通費 …車両・移動に必要な料金です。	■ご連絡いただきたい内容 ●品名 ●型式 ●お買い上げ日（年 月 日） ●故障の状況（できるだけ具体的に） ●お名前 ●電話番号 ●ご住所（付近の目印などもあわせてお知らせください） ●訪問希望日

修理のご用命は…

お買い上げの
販売店 または お近くの
ネポン営業所

ご相談

カスタマーセンター
☎(046) 247-3195
月曜日～金曜日 9:00～17:00
FAX  0120-926413

☐ お買い上げ年月日／ 年 月 日

☐ お買い上げ販売店／

電話番号（ ） —

お客様へ

お買い上げ年月日、
販売店名を記入してください。
サービスを依頼されるとき、
お役に立ちます。

ネポン株式会社

〒243-0215 神奈川県厚木市上古沢411番地

URL : <https://www.nepon.co.jp/>